

平成17年・年頭所感

日本LPガス協会
会長 吉田 清

新年明けましておめでとうございます。平成17年の新春を迎えるに当たり一言ご挨拶を申し上げます。

顧みますと、平成16年は極めて多事多端な年であり、昨年10月に発生した新潟県中越地震につきましては、被災者の方々に改めて衷心よりお見舞い申し上げます。

ところで、この度の中越地震におきましても、LPガスの災害への対応力がいかに発揮されました。電気、都市ガス、水道等のライフラインが相次いで寸断される中で、各家庭へのLPガス供給につきましては、発生直後より補修・安全点検を行い、速やかに使用できることとなりました。また避難所での生活を余儀なくされた方々のために、炊き出しや給湯用のLPガス設備の設置資金を拠出するとともに、数々の生活物資や人的な支援等に尽力致しましたことはご高承のとおりであります。

この場を借りて関係各位のご努力に敬意を表するとともに、復旧に向けての活動について、さらなるお力添えを賜りますようお願い致します。

また、昨年はこの他にも数々の大きな出来事がありました。

まず、エネルギー政策面では、一昨年策定された「エネルギー基本計画」において、LPガスはクリーンなガス体エネルギーとしての位置付けがなされました。これを受けて「2030年のエネルギー需給展望」におきましても、将来に向け大きな役割が期待されることとなりました。LPガスが独立したエネルギーとして明記されたことは、LPガスに対するご理解が頂けたものと高く評価しております。今後は、こうした期待に応えて、LPガスがより一層国民生活に役立つよう責任を果たしていく必要があると思っておりますので、政策的なご支援・ご助言を頂けますようよろしくお願い申し上げます。

供給面では、現在、全国5カ所でL Pガス国家備蓄基地の建設が2010年度の完成を目指して進められており、このうち今年七尾基地、福島基地、神栖基地の3基地が完成します。元売業界として、国家備蓄基地の安定操業に側面からお役に立って参りたいと思いません。

一方、輸入価格面では異常ともいえるC Pの高騰が業界を直撃し、関係の皆様には大変ご無理をお願い申し上げます。昨年夏頃から原油が高騰し始め、これに合わせてC Pも異常な高値となり、昨年11月にはついに2ヵ月連続して過去最高値を更新するという事態になりました。元売と致しましては、これまでも輸入L Pガス価格の他エネルギーとの競争力を確保すべく、C Pの安定化のため、産ガス国との対話や輸入ソースの多様化等を推し進めて参りましたが、引き続き努力する所存でありますので、関係各位のご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

税制面におきましては、石油石炭税が3段階に分けて増税されることになっており、今年4月には第2段階としてトン当たり140円引き上げられ940円になりますが、同税の取扱いにつきましても、よろしくご理解の程お願い申し上げます。

また、昨年11月には環境税導入に係る環境省提案が明らかとなりました。我々と致しましては、石油石炭税を含む既存のエネルギー関係諸税の抜本の見直しを行わないまま環境税を導入することには、断固反対であります。

さて需要面におきましては、現在、給湯、空調及び発電分野等での需要拡大に取り組んでおりますが、エネルギーシステムを画期的に変革するガスエンジン、燃料電池等のコージェネレーションシステムの開発・普及が加速されている折から、L Pガスを原燃料とする家庭用としての1kWコージェネレーションや燃料電池の普及促進にもより一層努めて参ります。

また、最近のオール電化攻勢は極めて脅威となっており、これに対抗していくためには、L Pガスのイメージアップのための広報活動の強化とともに、需要拡大に向け業界が一丸となって取り組んでいくことが不可欠となっております。昨年、日本L Pガス団体協議会では「需要拡大新戦略」として、各地で需要開発セミナーを開催する等、

精力的な活動を展開して参りましたが、今年はさらに拡充して、積極的に取り組んでいく所存であります。

自動車用途におきましても、一昨年10月の自動車NO_x・PM法の改正により、最近では宅配業者や地方自治体によるLPガストラックや塵芥車の導入が活発化しています。一時期はLPガスタクシーや自家用乗用車の減少により台数が減少していましたが、最近では上昇傾向に転じています。今後とも政府・地方自治体への普及のための働きかけや展示会・講演会の開催を通じて、一層の普及促進を図って参ります。

当協会は今年度より「2010年に向けたビジョン」により事業推進を図っていますが、今後とも同ビジョンに基づき、需要拡大、環境対応、安定供給の推進とともに、備蓄義務や税制に伴うイコールフットリングの実現等にも積極的に努めていく所存であります。

ところで、LPガス産業が誕生して50年経過しますが、業界が一丸となって国民に選ばれるエネルギーとなるために、東京オリンピックで聖火として灯った日である10月10日を、今年から「LPガスの日」として定め、活動の原点とすることとしています。

関係各位には、今年もご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々のご発展とご健勝を祈念致しまして新春のご挨拶とさせていただきます。